

仕様書

1 業務の名称

パソコン等保守委託（令和7年6月～令和8年3月分）

2 契約対象機器及び設置場所等

本委託業務の対象機器（以下「対象機器」という。）は、別紙1「対象機器一覧」のとおりとし、設置場所は、別紙2「対象機器設置場所一覧」のとおりとする。

3 委託業務の内容

受注者は、以下の業務を行うこと。

- (1) 受注者は、対象機器が故障した場合（内蔵バッテリーの性能低下によるバッテリー交換を含む。）は、発注者からの要請に基づき、現地に技術員を派遣して修理及び部品交換等の保守（以下「保守業務」という。）を行い、正常な状態に復旧するものとする。

なお、本契約終了後、受注者以外の事業者・メーカーが対象機器を修理する場合においても、問題なく保守作業を行うことができるよう、保守業務で手配する部品は、対象機器本体のメーカーが提供する純正部品とする。

- (2) 平日は午前9時から午後5時まで、日本語で対応できる保守業務の受付手段を確保し、発注者から連絡を受けた場合には、速やかに日本語で対応できる技術員を現地に派遣するものとする。

なお、この場合において速やかとは、午前9時から正午までに受け付けたものについては、同日の午後4時30分まで、正午から午後5時までに受け付けたものについては、翌日の正午までに技術員が現地に到着できることを言う。

ただし、事前に発注者の承認を得た場合は、この限りではない。

- (3) 受注者は上記(1)の保守業務終了後、速やかに作業報告書（任意書式）を作成し、その都度、発注者に提出するものとする。
- (4) 受注者は、HDD又はSSDの交換を伴う保守業務が発生した場合は、当該保守業務終了後、発注者にてデータ消去のための物理破壊を行うため、故障したドライブを発注者に無償で引き渡すものとする。
- (5) 対象機器が常に正常な状態で稼働するために必要な部品（プリンタのトナーカートリッジ及びドラムカートリッジを除く）の交換が必要となった場合、それにかかる費用は受注者が負担するものとする。また、プリンタの定期保守にかかる必要な部品についても受注者が負担するものとする。
- (6) 本委託業務においては、通常、発注者の故意又は過失による機器の故障（例：液体のこぼれ、落下による破損）は保守対応の対象外とする。ただし、発注者の故意又は過失による画面破損を原因とするディスプレイ交換については、契約期間中に最大10台まで、本委託業務の範囲内で行うこととする。

4 業務実施計画書の提出

受注者は、次のとおり、業務の実施に先立って業務実施計画書を発注者に提出し、その承認を受けること。また、文書は日本語で記述すること。

(1) 記載内容

- ア 委託業務の目的、業務内容
- イ 体制図及び作業従事者名簿
- ウ 業務実施計画書に対する責任者・連絡先

- (2) 発注者は、必要があると認めるときは、業務実施計画書を受理した日から7日以内に受注者に対してその修正を請求することができる。
- (3) 業務実施計画書の記載内容に変更が生じる場合、発注者は、必要があると認めるときは、受注者に対して業務実施計画書の再提出を請求することができる。

5 納品物

受注者は、次のとおり納品すること。また、文書は日本語で記述すること。

納品物	提出方法	納入期限
業務実施計画書	紙媒体又は電子媒体	本委託業務着手前
作業報告書	発注者受注者協議の上、決定する。	保守業務終了後速やかに
業務完了報告書	紙媒体又は電子媒体	月単位での提出とし、翌月第一営業日まで なお、最終月は令和8年3月31日まで
その他、発注者が必要とする資料等	発注者受注者協議の上、決定する。	発注者受注者協議の上、決定する。

6 作業上の注意事項について

本委託業務の実施に当たっては、次の点に留意すること。

- (1) 受注者は、保守業務の日程等についてあらかじめ発注者の了解を得ること。
- (2) 作業者は保守業務を行う場所以外には無断で立ち入りせず、立ち入りする場合は発注者へ連絡しその指示の下で行動すること。
- (3) 作業者は、庁舎内で保守業務を行う際は身分を証明するものを携行し、名札を着用すること。
- (4) 本委託業務で取り扱う対象機器のデータ及び情報システムの取扱いには十分注意を払い、保守作業を行う場所以外への持ち出しは禁止とする。ただし、やむを得ない事情のため外部へ持ち出す場合は、事前に文書による発注者の承認を得ること。
- (5) 受注者は、本委託業務において取り扱う情報については十分注意し、契約終了時には返還や消去をする等、適切に取り扱うこと。